

# くるりんこは【きずなループ事業】を推進します

3,11を境に、私たちの価値観が大きく変化しています。中でも環境は重要なテーマとして考えられ、特にエコに対する意識とリサイクルに関する取組みは、国民一人一人にとって身近なものになりました。

これまで日本国内で利用されず輸出されてしまっていた廃電線を、仕事の不足に悩む障がい者施設の安定的な仕事にする【きずなループ事業】の仕組みはそうした中から生まれました。これによって、障がい者の方々の自立支援と、資源の国内リサイクルが促進される事が期待されます。

一般企業では事業採算性の確保が難しく、敬遠される廃電線リサイクルですが、銅は必要不可欠な資源のため「売れない」ということがないので、納期や時間の制約がありません。そのため自分たちのペースで仕事のできる障がい者施設の仕事として、優れた収入源となります。また、障がい者の方の中には類まれな集中力や、単調な作業にもめげない忍耐力をもった方々もおられ、廃電線リサイクルの電線剥離の仕事は、むしろ好ましい仕事ともいえるのです。



ぜひ【きずなループ事業】にご参加ください。

## 障がい者施設様

【きずなループ事業】にご興味を持たれた障がい者施設様、ぜひお気軽にご連絡ください。事務局の担当員が様々なご相談をさせていただきますので、安心して廃電線リサイクルを作業として導入していただくことができます。

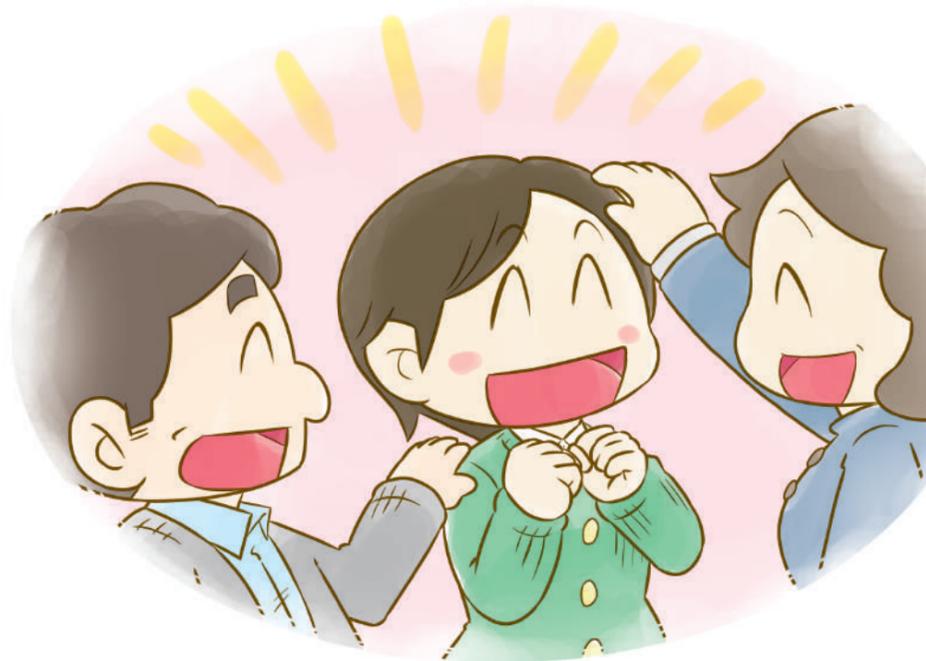
## 一般企業様

【きずなループ事業】では、リサイクルする廃電線を提供していただける一般企業様を募集しております。詳細は窓口担当員が丁寧にご案内させていただきます。一般企業様の積極的な参加が、地域の福祉環境に明るい光をもたらしますので、ご検討のほどよろしくお願いいたします。

きずなループ事業について、さらに詳しくお知りになりたい方は、きずなループ事業公式ホームページ <http://kizunaloop.com/>  で検索

多くの企業様よりご協力をいただきありがとうございます。感謝の気持ちをかたちにして、地域の福祉向上に役立ててまいります。

きずなループ事業は経済産業省平成25年度東日本大震災復興ソーシャルビジネス創出促進事業（ソーシャルビジネス新事業創出事業）採択事業です。



# くるりんこ No.02

発行：NPO法人くるりんこ

【本部事務所】〒966-0086 福島県喜多方市西四ツ谷189番地  
TEL:0241-21-9551 FAX:0241-21-9552  
【郡山事務所】(きずなループ事業事務局) 〒963-8061 福島県郡山市富久山町福原字宝田46-1  
TEL:0120-536-672 FAX:024-953-6769  
【ステップボード】(障がい者福祉サービス事業所) 〒969-3537 福島県喜多方市塩川町四奈川字上川原2659番地  
TEL:0241-23-7400 FAX:0241-23-7401

くるりんこが推進する【きずなループ事業】が大きな評価をいただきました。ありがとうございます。

NPO法人くるりんこ 副理事長 福島健一

私たち、NPO法人くるりんこが取組んでいる【きずなループ事業】は、これまで日本国内でリサイクルするための費用がまかなえずに輸出され、結果として輸出先での公害を引き起こすリスクがあった廃電線の加工を、安定的な仕事として障がい者施設の収入源にすることを目的としております。

この事業が社会的な評価をいただき「東日本大震災現地NPO応援基金 特定助成 JT NPO応援プロジェクト」の事業として採択されたことを機会として、事業の進捗が力強くなりました。

当初、廃電線を剥離する剥線機は、メーカー様の善意により私たちが借り受けて、障がい者施設へ提供していましたが、助成のお力で大型の剥線機を2台購入して新しい施設へ提供することができました。結果、より多様な廃電線の剥離作業が可能となり、常に障がい者への工賃を上げたいと思案している関係者の方への一筋の光となりそうです。



さらに施設の方のお話では、比較的単純・単調な作業が多い施設の仕事の中で、廃線剥離の作業は廃線の種類を選別することに始まり、まっすぐに延ばしたり、長さを合わせたり、時には廃線に付いている部品をドライバーなどの工具を使用して外したりと、ひと手間ふた手間を必要とするのですが、

逆にその行程を工作づくりのように、楽しみながらこなしてしまう障がい者の方もおり、「今日は電線の仕事あるんだよね」との催促さえ出ることもあるそうです。

JT様の助成事業に採択されたこと、障がい者施設様のよろこびの声を耳にしたことで【きずなループ事業】の可能性を、より確かなものとしての実感を覚えます。



又同時に新しい課題として見えてきたのが、仕事を必要とする障がい者施設に対して、提供いただく廃電線が絶対的に不足しているという現実です。

そこで、これまでは地元福島県の活性を意識しての事業として取り組んできたのですが、福島県を中心として東北や北関東の皆様と手を組みながら、この事業を進めさせていただこうと、活動範囲を広げることになりました。

障がい者の自立と地域の自立を合い言葉に【きずなループ事業】にご協力いただけますようお願いいたします。

東日本大震災復興支援

JT NPO応援プロジェクト



# ヒロシ君の訪問日記



きずなループ事業に参加して下さっている障がい者施設様への訪問レポートです。就労継続支援B型事業の「工房ポプリ」さんに遊びに行ってきました。(福島県猪苗代町)

## 目標を達成するって難しい

**カ ナ:** ねえ、ヒロシお兄ちゃん、聞いて聞いて！お母さんったら意地悪なの。今日、おやつ抜きだって言うの。も〜、お母さんなんかキライ！

**ヒロシ:** ちょ、ちょっと待って。どうしておやつ抜きなの？

**カ ナ:** ん〜とね、朝に一人できちんと起きられなかったから……。でも、今日はちゃんと起きたよ。

**ヒロシ:** じゃあ、なんでだろうね。

**カ ナ:** 本当はね、1週間に3回は一人で起きるってお母さんと約束したの。でもまだ今週は昨日しか起きられなかったから……

**ヒロシ:** そうか、明日は金曜日だから、今週は3回にならないんだ。

**カ ナ:** ……でもね、……でも……おなかすいたよ〜。

**ヒロシ:** それで機嫌が悪かったんだね、はい、おいしいパンをあげるよ。機嫌なおしてね。

**カ ナ:** わあ、ありがと。今食べてもいい？ん〜ん、おいしい、あたたかくてふわふわしておいしいよ。

**ヒロシ:** 今日は、有限会社シークエンスさんが経営している、就労継続支援B型事業所の「工房ポプリ」さんに遊びにいったんだよ。このパンは「工房ポプリ」さんの焼きたてのパンなんだ。

**カ ナ:** しゅーろーしえん？えーと、障がいのある人が通っているところだよ。

**ヒロシ:** そう、カナちゃんも少しづつわかってきたね。いろんな理由があるんだけど、人に会うのや話すことがうまくできなくて、会社にお勤めすることが難しい人が、頑張っって生活できるように練習する施設のひとつが「工房ポプリ」さんなんだ。

**カ ナ:** そこってパン屋さんなの？カナも大きくなったらパン屋さんになりたい。そしてお母さんにおいしいパンをいっぱい食べさせてあげるの。カナも大きくなったらそこでお仕事できるかな。

**ヒロシ:** それはカナちゃんが大きくなったときに考えるといい。それに「工房ポプリ」さんはパン屋さんだけじゃないんだよ。

**カ ナ:** 知ってる、知ってるよ。他にね、ケーキ屋さんとかアイスクリーム屋さん。

**ヒロシ:** まだおながすいてるみたいだね。近所の農家から分けてもらったトマトでトマトピューレをつくったり、タオルたたみの仕事とか【銅線剥離エコビジネス】とかの仕事もしてるんだよ。

**カ ナ:** いろいろな仕事しているんだね。

**ヒロシ:** そうだね。障がいを持つ人達はあまり難しい仕事は得意じゃないから、できる仕事を選んでいろいろ仕事になってしまふんだ。

**カ ナ:** ふ〜ん、いろいろあると楽しいの？

**ヒロシ:** 楽しいとかじゃなく、自分たちでお仕事をしてお給料をもらうために「工房ポプリ」さんに通っているんだよ。

**カ ナ:** 【銅線剥離エコビジネス】って、ヒロシお兄ちゃんが通っている「くるくる……?」「くるりんこ」のお仕事だよ。

**ヒロシ:** そう、あまり難しくもないし、お部屋の中でできるので季節



## でも達成できるとうれしい！ もっともっと頑張れるから。

や天気の影響も関係ないから、障がい者施設の仕事に向いているんだ。

**カ ナ:** りさいくる……って言うんだよね。お母さんが言った。これからとても大切なことだって……褒めてたよ。

**ヒロシ:** それはうれしいな。【銅線剥離エコビジネス】はね、電気事業者さんなどから廃電線を提供していただいて、線のまわりのビニールなどの皮膜を剥いて、新しい同製品の材料をつくる仕事なんだ。僕たちの「くるりんこ」は、他の障がい者の施設にも手伝ってもらうように、廃電線を少しでも多く集めるように活動しているんだよ。

**カ ナ:** わあ、いっぱい集まるといいね。

**ヒロシ:** うん。とてもありがたいことにね、廃電線を提供して下さる業者さんも少しづつ増えているんだよ。なんとって、有名なJTさんも助成金を出してくれて応援してくれてるしね。

**カ ナ:** じよせーきん？

**ヒロシ:** いいことだから頑張っって応援してくれることさ。それに【銅線剥離エコビジネス】の仕事は、ネジ回しで小さな機械を外したりで工作みたいな作業もあるので、とても楽しんで仕事してくれる人が多いんだって、まして、いつまでどれくらい仕上げるという「納期やノルマがない」から、職員の方も安心して扱えるってよるこんでいるんだよ。

**カ ナ:** わあ、いいな。じゃあ、カナも応援するね。だからヒロシお兄ちゃんも応援してくれる。

**ヒロシ:** どんなことかな？

**カ ナ:** 来週から必ず1週間に3回は一人で起きられるようにするから応援して。出ないとお母さんに「自分で決めた目標だからね！」って、おやつもらえなくなっちゃう。

**ヒロシ:** な〜るほど、わかったよ。そういえば「工房ポプリ」さんに通っている障がい者のみんなも、毎月目標を設定して仕事や生活してるんだって。

**カ ナ:** どんな目標なの？

**ヒロシ:** 通っている人たちは、知的や精神の障がいの人達なので、計画や目標を立てるのは得意じゃない人達なんだ。でも職員の方々が、少しでも早く社会生活に慣れるようになって考えて実行しているんだって。だから「返事をします」とか「毎日通います」というような、簡単なことからでも必ずやりましようって、紙に書いて見えるところに張っておくようにしてるんだ。

**カ ナ:** だったら頑張れるよね。

**ヒロシ:** そうなんだ。そして目標を達成した人にはみんなで褒めたあげるんだって、すてきだよ。できないならしょうがないなんて甘やかさないで、ちょっと厳しくても少しでも早く社会生活に慣れるようにしているそうだよ。

**カ ナ:** ヒロシお兄ちゃん。カナ……お母さんに謝らなきゃ……いけないよね。

**ヒロシ:** カナちゃん、えらい。今日帰ったらお母さんに「来週から必ず目標通りに起きます！」って言ってごらん。きっと来週は大丈夫だから。

**カ ナ:** うん、わかった。ヒロシお兄ちゃんもいっぱい廃電線集めるのを目標にして頑張っってね。カナも頑張るね。でないとおやつ食べられないし……。

**ヒロシ:** ……ありがとう。



でも休まなかったのは  
ほめられた



でも休まなかったのは  
ほめられた



来月は返事もほめられるように  
がんばる！

